

巻頭特集

「大相続時代 どう備えるか」
知っておきたい相続税
遺言書を書くポイント
改正で注目 配偶者の権利
節税対策 「贈与」に回帰

デジタルレスキュー

無料Wi-Fi 安全に使う

投資指南

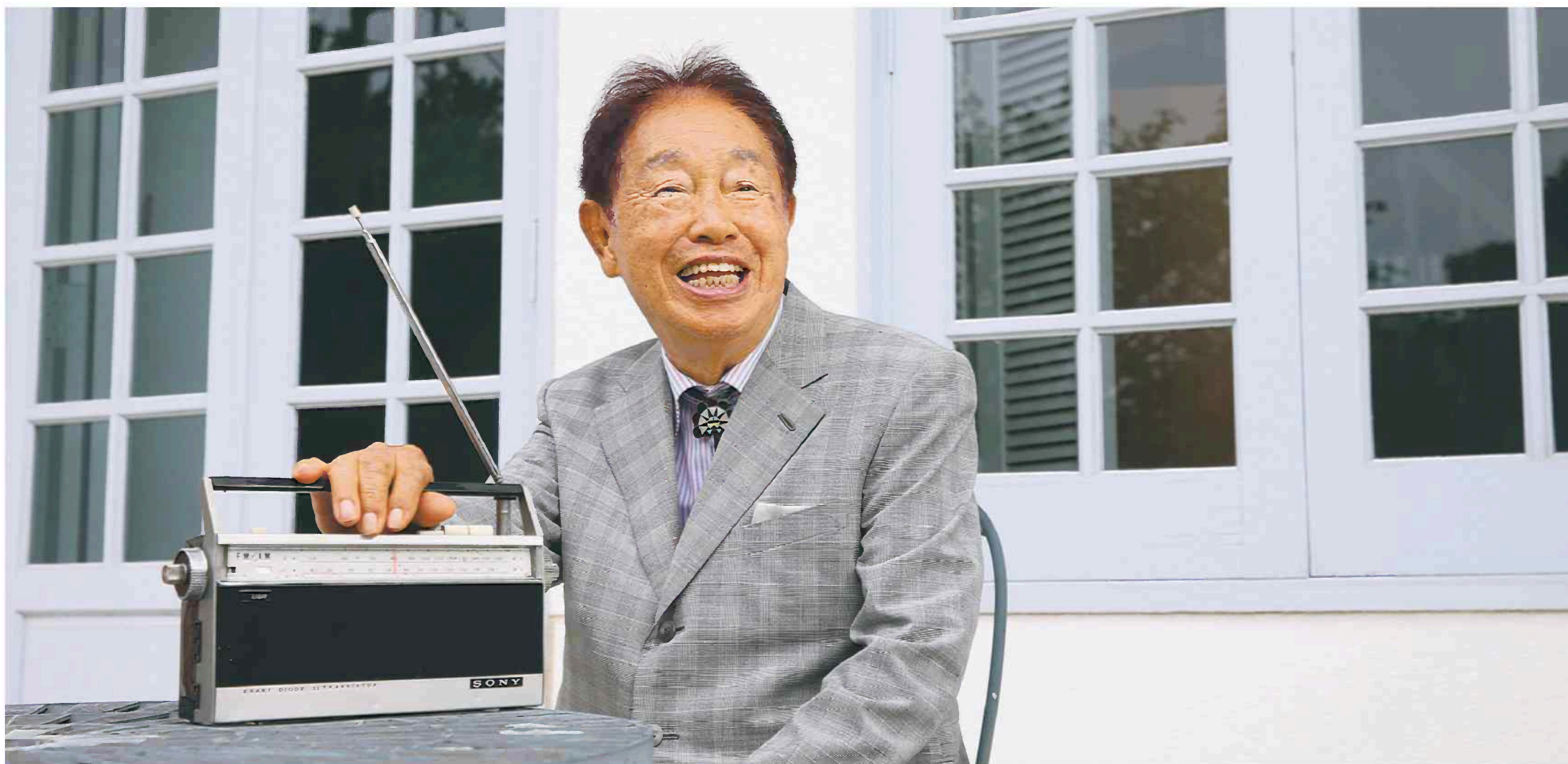
ポイント投資で本格的に勉強

シニア筋トレ

腸腰筋鍛えて つまづき無縁

晩節考

ゴールの流儀 付度しなかつた男



三浦秀行撮影

生涯現役 若者に創造力を

物理学者

江崎 玲於奈さん(95)

ノーベル物理学賞を受賞した江崎玲於奈さん(95)は、人生の前半は研究者、後半は教育者として第一線に立ち続け、生涯現役を貫いている。人生100年時代を体現する才人に、どのようにすればより豊かな人生を送ることができるのか、その秘訣を教わった。

「コロナ禍が気がかりですが、いかがお過ごしでしょうか。」
「講義や会合、すべてがオンラインとなり、茨城県つくば市の丘の上にある自宅に籠った生活をしています。丘の下には水田が広がり、家の後ろは小鳥の住む深い森に接し、家内の構想に基づくこの住居は籠るには最も適しています。」
「最近、うれしいことがあったと聞きました。」
「米国の電子デバイスの著名な学会から『最も優れた論文に与える賞をレオ・エサキ賞と命名したい』と連絡がありました。私の名が人々の研究心を刺激し、鼓舞するものであれば、これに過ぎる喜びはありません」と答えました。
「私は戦時中の1944年、東京帝国大学に入学し、翌年3月の東京大空襲では下宿から焼け出されました。講義の中で最も感銘を受けたのは物理学の進歩を象徴する画期的な量子力学でした。そこでは、エネルギーは不可分の小さなエネルギーの塊、量子から成り立っているというのです。そこで私は、量子力学の新知識を活用し、量子デバイスを作るといって『人生ドラマのシナリオ』を創作し、前人未踏の分野に足を踏み入れました。」
「人間の一生とは、自分が主役を演ずるドラマであり、シナリオが問われることとなります。年齢に応じ、能力が最大限に発揮できるシナリオを創作し、それに従って活動する。しかし、シナリオに書かれていない『チャンスの女神』のほほ笑みに出合えば、一大好機です。的確にとらえ、自分のものにする。それが成功の秘訣です。32歳の時、好機に恵まれ、エサキ・ダイオードを発見できました。」



1973年、ノーベル物理学賞を受賞。スウェーデン・ストックホルムでの授賞式ではスウェーデン・グスタフ国王と握手した
＝茨城県科学技術振興財団提供

座右の銘 才能が生かせる人生シナリオの創作と実演

「95歳の今も、教育者として現役です。」

「2025年、大阪府生まれ。47年に東京帝国大学(現在の東京大学)卒業。東京通信工業(同・ソニー)、米IBMワトソン研究所などに勤務。73年「エサキ・ダイオード」の発明でノーベル物理学賞、98年「人工超格子」の発明で日本国際賞を受賞。筑波大学学長などを経て、98年から茨城県科学技術振興財団理事長、2006年から横浜薬科大学学長。

「健康法は。」

「家内が豊洲市場から生け締め天然の魚や貝類を取り寄せ、野菜はすべてオーガニックと、ヘルシーでデリシヤスな料理を作ってくれます。あとはラジオ体操くらいですかね。50年以上前に米国で市販されたエサキ・ダイオードを使用したソニー製のFM・AMラジオは今もちゃんと働きます。」

後記

コロナ禍の中、江崎さんの撮影に立ち会うため、少し緊張しながらご自宅にお邪魔しました。以前と変わらずお元気で、笑顔で迎えていただいたことに胸をなで下ろした。頭の回転が速く、ユーモアに富んだ言葉も次々と飛び出し95歳という年齢を忘れてしまう。

江崎さんが提唱する「ノーベル賞を取るために、してはいけない5カ条」のひとつに「いつまでも初々しい感性と飽くなき好奇心を失ってはいけない」がある。みなぎる活力の源泉はここにあるようだ。

江崎さんに常に寄り添う真佐子夫人の存在も大きい。夫婦漫才のような会話をしつつ、「You are my destiny.」(君はわが運命)と呼び合う二人の絆に心を打たれた。(つくば支局長 浅沼直樹)